

# YMアセット・ オーストラリア 好配当資産ファンド

追加型投信／海外／資産複合

## 交付運用報告書

第28期（2024年9月20日決算）

第29期（2024年12月20日決算）

作成対象期間（2024年6月21日～2024年12月20日）

第29期末（2024年12月20日）	
基準価額	13,704円
純資産総額	1,741百万円
第28期～第29期	
騰落率	△2.3%
分配金合計	200円

（注）騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。

●交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。

●当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供することを定めており、以下の手順で閲覧およびダウンロードすることができます。

### <運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法>

右記の当社ホームページを開く

⇒「ファンド情報」を選択

⇒「ファンド名」を選択

⇒ファンド詳細ページから「運用報告書（全体版）」を選択

●運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付を希望される方は、販売会社までお問い合わせください。

## 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「YMアセット・オーストラリア好配当資産ファンド 愛称：トリプル維新（リアルオージー）」は、このたび、第29期の決算を行いました。

当ファンドは、オーストラリアのリアルアセット関連有価証券を実質的な主要投資対象とし、信託財産の成長をめざして運用を行ないました。ここに、第28期、第29期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

## YMfg | ワイエムアセットマネジメント

山口県下関市竹崎町四丁目2番36号

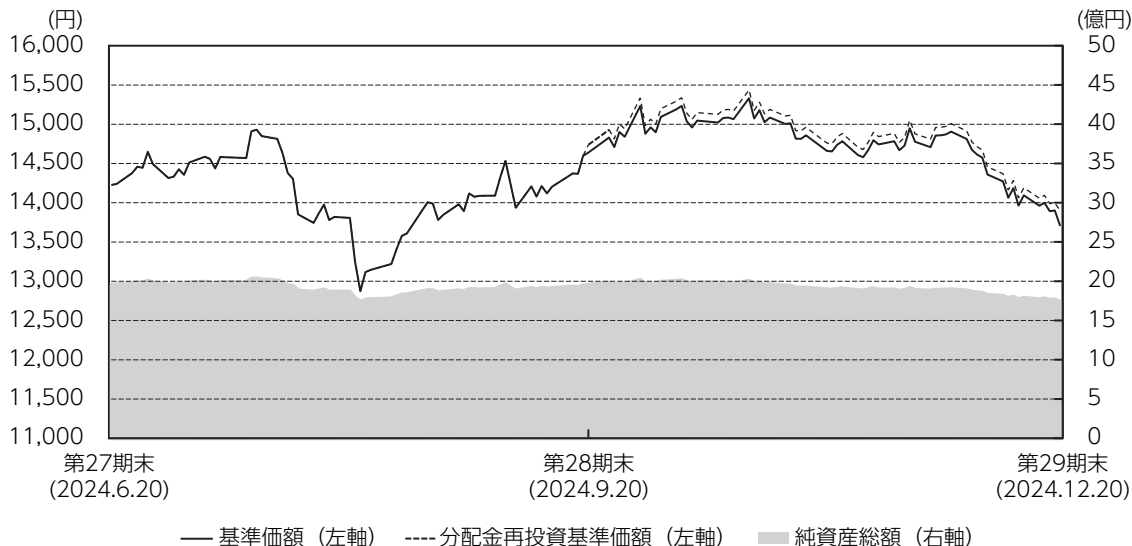
お問い合わせ先 083-223-7124

（営業日の9:00～17:00）

ホームページ <http://www.ymam.co.jp/>

## 運用経過

## 基準価額等の推移について



(注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

## ■基準価額・騰落率

第28期首：14,226円

第29期末：13,704円 (既払分配金200円)

騰落率：△2.3% (分配金再投資ベース)

## 基準価額の主な変動要因

オーストラリアのリートやインフラ (社会基盤) 関連銘柄が上昇したことがプラスに働きましたが、為替相場においてオーストラリア・ドルが対円で下落 (円高) したことがマイナスに働き、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

## 1 万口当りの費用の明細

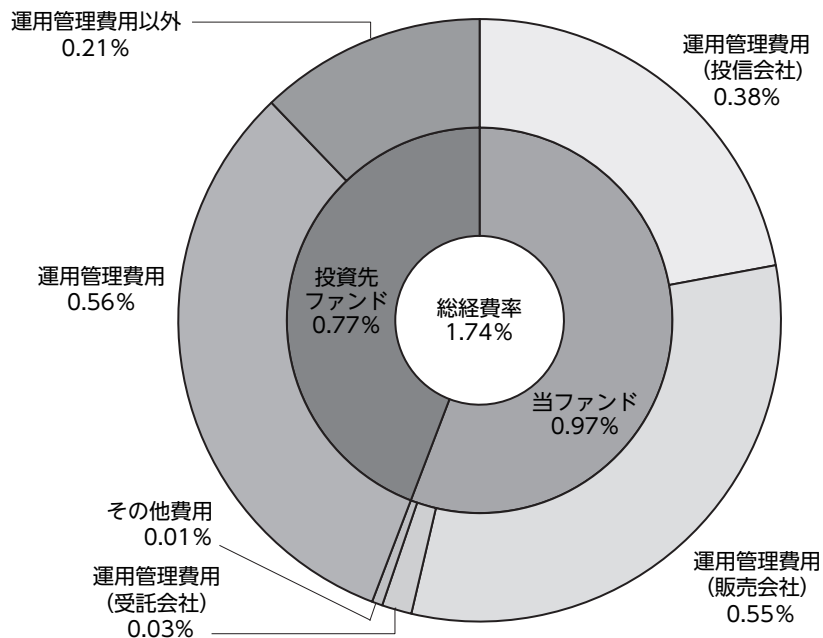
項 目	第28期～第29期		項 目 の 概 要
	(2024年6月21日～2024年12月20日)		
	金 額	比 率	
信託報酬	70円	0.482%	信託報酬＝各期中の平均基準価額×信託報酬率（年率）×各期の日数／年間の日数 <b>期中の平均基準価額は14,442円です。</b>
（投信会社）	(28)	(0.193)	ファンドの運用の対価
（販売会社）	(40)	(0.276)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	(2)	(0.014)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
売買委託手数料	－	－	売買委託手数料＝各期中の売買委託手数料／各期中の平均受益権口数 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	－	－	有価証券取引税＝各期中の有価証券取引税／各期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	1	0.005	その他費用＝各期中のその他費用／各期中の平均受益権口数
（監査費用）	(1)	(0.005)	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
合 計	70	0.488	

- (注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注2) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。
- (注3) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注4) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## 参考情報

## ■総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.74%です。



総経費率 (①+②+③)	1.74%
①当ファンドの費用の比率	0.97%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.56%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.21%

(注1) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

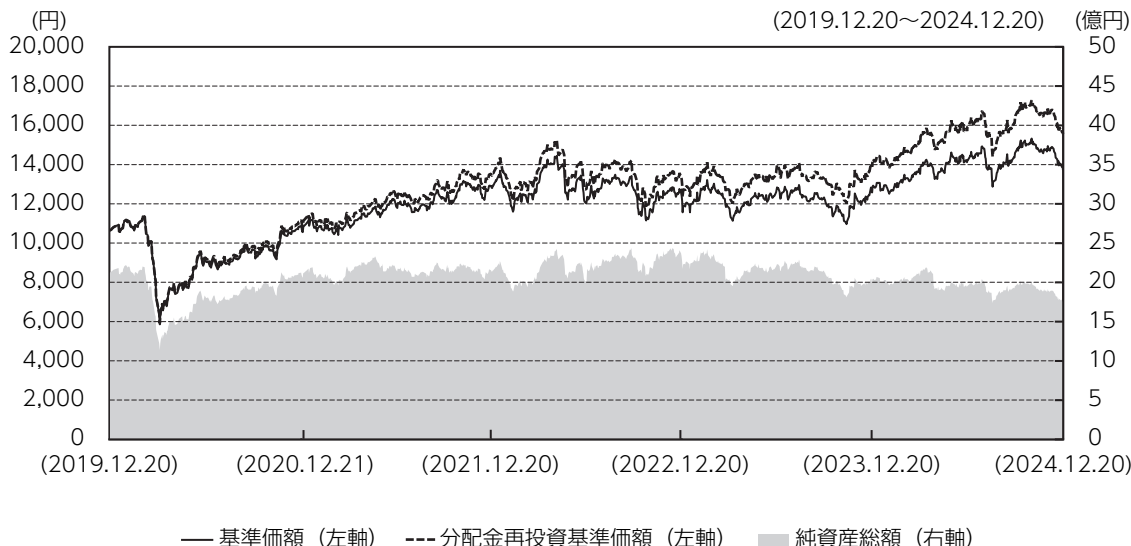
(注4) 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移について



- (注1) 分配金再投資基準価額は、2019年12月20日の基準価額をもとに指数化したものです。  
 (注2) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。  
 (注3) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

		2019年12月20日 決算日	2020年12月21日 決算日	2021年12月20日 決算日	2022年12月20日 決算日	2023年12月20日 決算日	2024年12月20日 決算日
基準価額 (分配落)	(円)	10,645	10,878	12,910	12,401	12,582	13,704
期間分配金合計 (税込み)	(円)	—	240	240	240	400	400
分配金再投資基準価額の騰落率	(%)	—	5.0	21.1	△ 2.1	4.8	12.1
S & P / A S X 200指数 (配当込み、円換算ベース) 騰落率	(%)	—	5.9	16.4	14.5	13.7	16.7
S & P オーストラリア R E I T 指数 (配当込み、円換算ベース) 騰落率	(%)	—	1.8	29.1	△ 7.1	15.5	24.8
純資産総額	(百万円)	2,121	2,122	2,151	2,336	1,997	1,741

- (注1) S & P / A S X 200指数 (配当込み、円換算ベース) および S & P オーストラリア R E I T 指数 (配当込み、円換算ベース) は当ファンドの参考指数です。参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する指数として記載しております。  
 (注2) S & P / A S X 200指数 (配当込み、円換算ベース) は S & P / A S X 200指数 (配当込み、オーストラリア・ドルベース) をもとに、S & P オーストラリア R E I T 指数 (配当込み、円換算ベース) は S & P オーストラリア R E I T 指数 (配当込み、オーストラリア・ドルベース) をもとにワイエムアセットマネジメントが円換算したものです。S & P / A S X 200指数 (配当込み、オーストラリア・ドルベース) および S & P オーストラリア R E I T 指数 (配当込み、オーストラリア・ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S&P Dow Jones Indices LLCが有しています。S&P Dow Jones Indices LLCは同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。  
 (注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前々営業日の終値を採用しています。

## 投資環境について

### ○オーストラリア・リアルアセット（※）市況

当作成期首から2024年7月にかけては、米国のC P I（消費者物価指数）が市場予想を下振れたことから、米国において年内の利下げ織り込みが加速したことなどを背景に、堅調に推移しました。8月初旬は、米国の雇用統計が市場予想を下回ったことから景気後退懸念が高まり、下落しました。その後は、景気後退懸念が和らいだことや、パウエルF R B（米国連邦準備制度理事会）議長が9月にも利下げに踏み切る姿勢を示したことなどから上昇しました。9月は、米国の製造業や雇用、物価関連の経済指標の結果などを背景に、9月のF O M C（米国連邦公開市場委員会）に向け利下げ織り込みが加速したことなどから上昇しました。10月から11月中旬にかけては、米国やオーストラリアの経済指標の堅調さやトランプ次期大統領の政策への懸念などから、オーストラリアの長期金利が上昇し、軟調に推移しました。その後は、年初来堅調に推移してきた反動やオーストラリアの金融政策の先行きが見通しにくいことなどもあり、方向感の出ない中、弱含みで推移し、当作成期末を迎えました。

※リアルアセットはリート、上場インフラファンド、株式を含みます。

### ○為替市況

当作成期首より、日本の金融市場が他国・地域に比べて緩和的な環境が続く見通しなどから、円安基調となりました。その後、過度な円安進行に対して日本政府・日銀が為替介入を行ったものの、円安基調は継続しました。しかし2024年7月以降は、日銀が7月の金融政策決定会合において、緩和的な金融政策を修正する観測が高まったことなどから大幅な円高豪ドル安に転じ、日銀が実際に利上げを決定した後も追加利上げへの警戒感がくすぶったことから、円高基調となりました。8月中旬から下旬にかけて、豪ドルは対円でいったん持ち直しましたが、9月前半には、オーストラリア金利の低下による日本とオーストラリアの金利差の縮小などから、円高豪ドル安となりました。9月後半から11月前半にかけては、オーストラリアの金利が上昇したことで日本とオーストラリアの金利差の拡大が意識され、円安豪ドル高が進行しました。その後は、オーストラリアの金利が低下に転じたことや日銀総裁が利上げを継続する方針を示したことなどから、円高に転じ、当作成期末を迎えました。

## ポートフォリオについて

### ○当ファンド

当ファンドは、オーストラリア・リアル・アセットファンド（適格機関投資家専用）とダイワ・マネーポートフォリオ（F O F s用）（適格機関投資家専用）に投資するファンド・オブ・ファンズです。期を通して、オーストラリア・リアル・アセットファンド（適格機関投資家専用）の受益証券を高位に組み入れました。

### ○オーストラリア・リアルアセット・ファンド（適格機関投資家専用）

大規模ショッピングモールをオーストラリア全土で運営するSCENTRE GROUP（不動産）、オーストラリアだけでなく、世界中で物流施設を開発・運営するGOODMAN GROUP（不動産）、住宅施設やショッピングモール、物流施設を保有するSTOCKLAND（不動産）、水力や地熱発電などの再生可能エネルギーに強みがあるニュージーランドの大手発電企業CONTACT ENERGY（公益事業）などを高位に組み入れました。

### ○ダイワ・マネーポートフォリオ（F O F s用）（適格機関投資家専用）

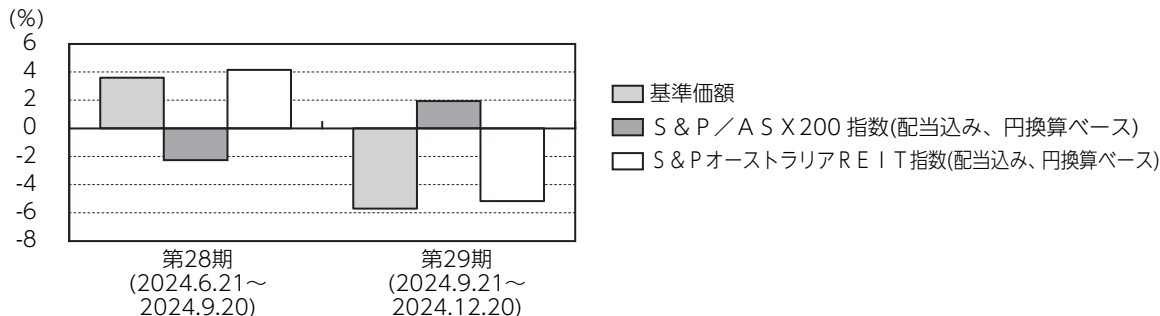
流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行ないました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数（S & P / A S X 200指数（配当込み、円換算ベース）およびS & P オーストラリア R E I T 指数（配当込み、円換算ベース））との騰落率の対比です。

参考指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前々営業日の終値を採用しています。



(注) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。

## 分配金について

1 万口当り分配金（税込み）は第28期は100円、第29期は100円といたしました。収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1 万口当り）」をご参照ください。なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### ■分配原資の内訳（1 万口当り）

項 目	第28期	第29期
	2024年6月21日 ~2024年9月20日	2024年9月21日 ~2024年12月20日
当期分配金（税込み）（円）	100	100
対基準価額比率（%）	0.68	0.72
当期の収益（円）	100	100
当期の収益以外（円）	-	-
翌期繰越分配対象額（円）	5,290	5,558

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

### ■収益分配金の計算過程（1 万口当り）

項 目	第28期	第29期
(a) 経費控除後の配当等収益	118.72円	366.45円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	393.12	0.00
(c) 収益調整金	1,851.88	1,882.62
(d) 分配準備積立金	3,026.63	3,409.47
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	5,390.35	5,658.54
(f) 分配金	100.00	100.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	5,290.35	5,558.54

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。

## 今後の運用方針

---

### ○当ファンド

オーストラリア・リアル・アセットファンド（適格機関投資家専用）の受益証券の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

### ○オーストラリア・リアルアセット・ファンド（適格機関投資家専用）

当ファンドでは、高速道路・空港などのインフラ（社会基盤）関連施設や、オフィス・ショッピングモールなどの不動産を保有し、安定的なキャッシュフローを生み出すことができる企業に注目しています。また長期的な配当成長の源泉となる、高い開発・運営能力や強固な事業基盤を持つ企業に着目します。

### ○ダイワ・マネーポートフォリオ（FOFs用）（適格機関投資家専用）

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## お知らせ

---

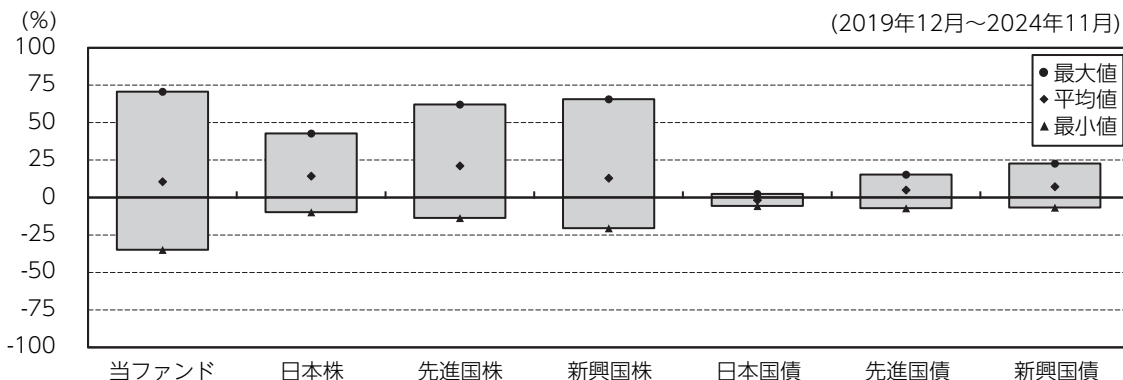
○該当事項はありません。



## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／資産複合
信託期間	2017年9月15日から、2044年9月20日までです。
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	イ) オーストラリア・リアルアセット・ファンド（適格機関投資家専用）の受益証券 ロ) ダイワ・マネーポートフォリオ（FOFs用）（適格機関投資家専用）の受益証券
運用方法	①主として、オーストラリア・リアルアセット・ファンド（適格機関投資家専用）の受益証券を通じて、オーストラリアのリアルアセット関連有価証券に投資することにより、信託財産の成長をめざします。 なお、リアルアセット関連有価証券とは、以下の有価証券をいいます。 イ) リート ロ) 上場インフラファンド ハ) リアルアセットを保有または運営する企業の株式 ※1 「リアルアセット」とは、使用料や賃料等のキャッシュフローを生み出すインフラ関連施設や不動産等の実物資産をさします。 ※2 ニュージーランドのリアルアセット関連有価証券にも投資することがあります。 ②オーストラリア・リアルアセット・ファンド（適格機関投資家専用）では、配当の成長性および継続性、利益成長性、収益基盤の安定性等に着目し投資を行ないます。 ③オーストラリア・リアルアセット・ファンド（適格機関投資家専用）では、原則として、為替リスクを回避するための為替ヘッジを行ないません。 ④この投資信託は、オーストラリア・リアルアセット・ファンド（適格機関投資家専用）とダイワ・マネーポートフォリオ（FOFs用）（適格機関投資家専用）に投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態、オーストラリア・リアルアセット・ファンド（適格機関投資家専用）への投資割合を高位に維持することを基本とします。
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、継続した分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。

## 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(当該ファンドと他の代表的な資産クラスの平均騰落率、年間最大騰落率及び最小騰落率 (%) )

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	10.6	14.4	21.1	13.0	-1.7	5.1	7.3
最大値	70.7	42.8	62.2	65.6	2.4	15.3	22.7
最小値	-34.8	-9.8	-13.6	-20.4	-5.6	-7.1	-6.6

(注1) 各資産クラスは、当ファンドの投資対象を表しているものではありません。

(注2) 上記は、過去5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと計算しています。

### \*各資産クラスの指数

日本株：Morningstar 日本株式指数 (配当込み)

先進国株：Morningstar 先進国株式指数 (除く日本、配当込み、円ベース)

新興国株：Morningstar 新興国株式指数 (配当込み、円ベース)

日本国債：Morningstar 日本国債指数

先進国債：Morningstar グローバル国債指数 (除く日本、円ベース)

新興国債：Morningstar 新興国ソブリン債指数 (円ベース)

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベース指数を使用しております。

### \*各資産クラスの騰落率に使用している指数について

Morningstar指数は、Morningstar, Inc. (以下「Morningstar」といいます。) により独占的に所有されています。Morningstar、その関連会社または子会社、直接的または間接的な情報提供者、またはMorningstar指数に関連があり、指数の構成、算出、または設定に関わった第三者

(これらの法人すべてを総称して「Morningstarグループ」といいます。) は、Morningstar指数またはそれに含まれるデータの正確性、完全性および/または適時性を保証せず、また、その誤謬、脱漏、中断についていかなる責任も負いません。Morningstarグループは、委託会社、当ファンドの保有者もしくはユーザー、またはその他の個人または法人が、Morningstar指数またはそれに含まれるデータを使用して得る結果について、明示または黙示を問わず、いかなる表明・保証もいたしません。Morningstarグループは、Morningstar指数またはそれに含まれるデータについて商品性または特定目的もしくは使用への適合性に関する一切の保証を、明示または黙示を問わず行わずに、かつ明確に否認します。上記のいずれも制限することなく、いかなる場合であれ、Morningstarグループは、特別損害、懲罰的損害、間接損害または結果損害 (逸失利益を含む) について、たとえこれらの損害の可能性を告知されていたとしても責任を負いません。

## ファンドデータ

### 当ファンドの組入資産の内容

#### ○組入ファンド等

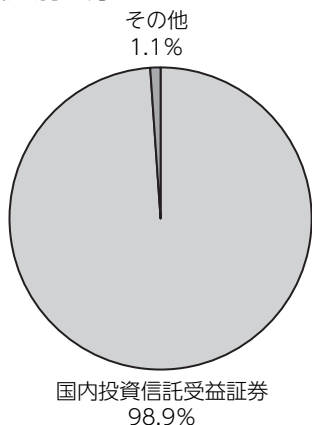
	比率
オーストラリア・リアルアセット・ファンド (適格機関投資家専用)	98.8%
ダイワ・マネーポートフォリオ (FOF s用) (適格機関投資家専用)	0.1
その他	1.1

(注1) 比率は第29期末における組入有価証券評価額の純資産総額に対する割合です。

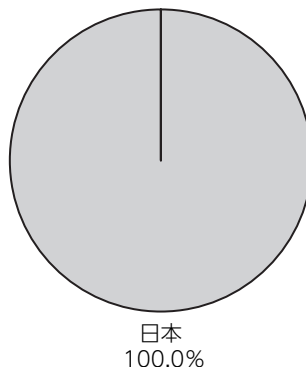
(注2) 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

(注3) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

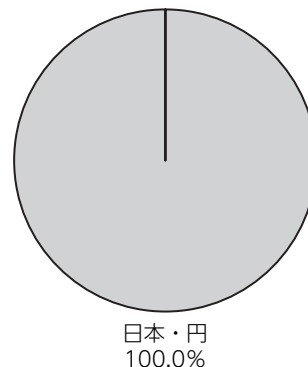
#### ○資産別配分



#### ○国別配分



#### ○通貨別配分



(注1) 上記データは2024年12月20日現在のものです。

(注2) 比率は第29期末における評価額の純資産総額に対する割合です。

(注3) 資産別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

### 純資産等

項目	第28期末	第29期末
	2024年9月20日	2024年12月20日
純資産総額	1,953,622,245円	1,741,274,448円
受益権総口数	1,334,640,755口	1,270,622,873口
1万円当り基準価額	14,638円	13,704円

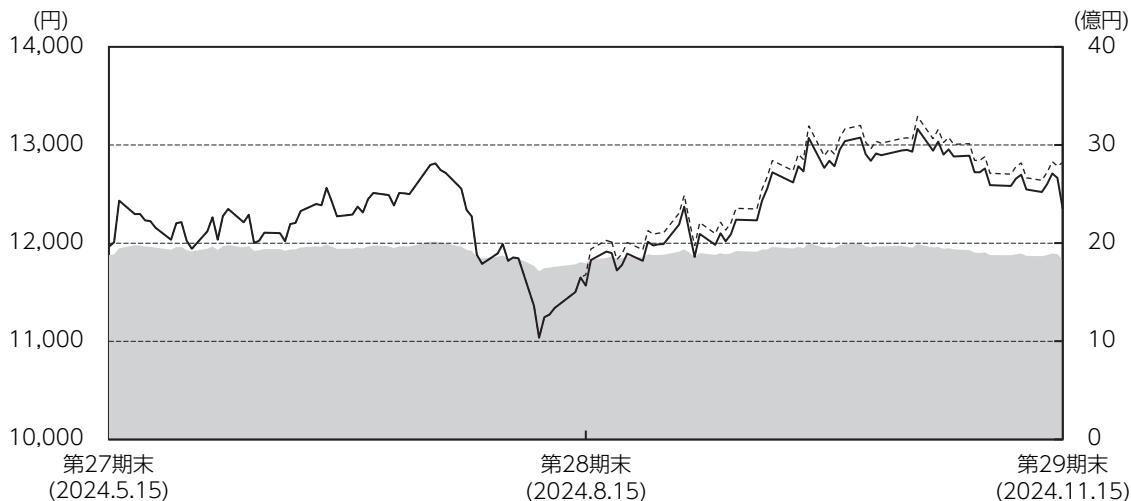
\* 当作成期間(第28期~第29期)中における追加設定元本額は17,839,415円、同解約元本額は121,443,331円です。

## 組入上位ファンドの概要

運用状況等に関する詳細な内容につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

◆オーストラリア・リアルアセット・ファンド（適格機関投資家専用）（計算期間 2024年5月16日～2024年11月15日）

■基準価額等の推移について



— 基準価額（左軸）    - - - 分配金再投資基準価額（左軸）    ■ 純資産総額（右軸）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

## ■ 1万口当りの費用の明細

項 目	第28期～第29期 (2024年5月16日～2024年11月15日)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	35円	0.285%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は12,328円です。
( 投 信 会 社 )	(33)	(0.266)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
( 販 売 会 社 )	(1)	(0.005)	販売会社分は、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
( 受 託 会 社 )	(2)	(0.014)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	4	0.032	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
( 株 式 )	(1)	(0.012)	
( 投 資 信 託 証 券 )	(3)	(0.021)	
有 価 証 券 取 引 税	－	－	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	13	0.108	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	(3)	(0.026)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
( 監 査 費 用 )	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
( そ の 他 )	(10)	(0.079)	配当金の再投資に係る税金支払い、信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	53	0.426	

(注1) 当作成期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

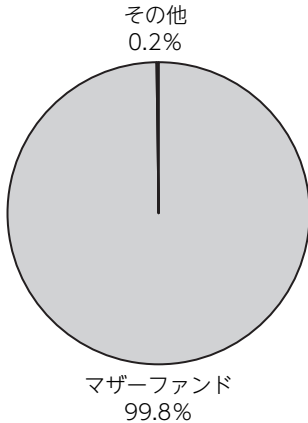
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

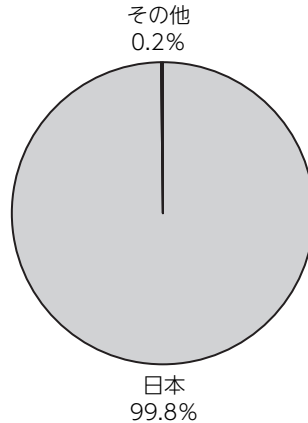
■組入ファンド等

	比 率
オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド	99.8%
その他	0.2

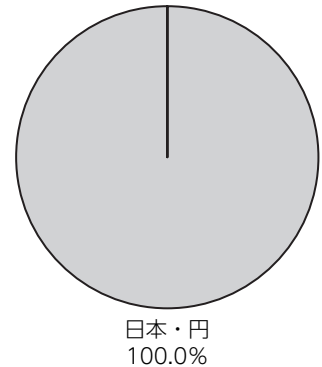
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



(注1) 上記データは2024年11月15日現在のものです。

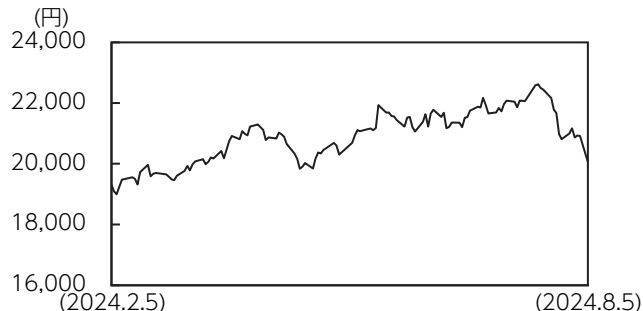
(注2) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

※以下のファンドはオーストラリア・リアルアセット・ファンド（適格機関投資家専用）が組み入れているファンドです。

◆オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド（計算期間 2024年2月6日～2024年8月5日）

■基準価額の推移



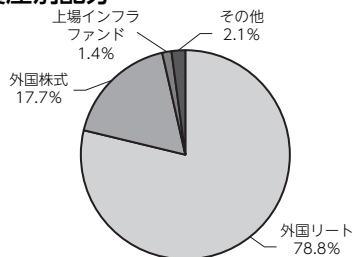
■1万口当りの費用の明細

項目	金額
売買委託手数料 (株式) (投資証券)	13円 (3) (10)
有価証券取引税	-
その他費用 (保管費用) (その他)	13 (6) (7)
合計	26

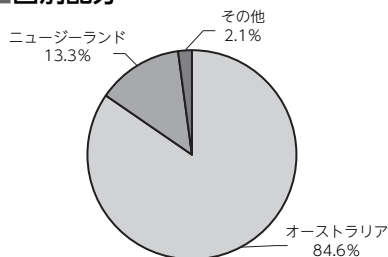
■上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
SCENTRE GROUP	オーストラリア・ドル	9.9%
GOODMAN GROUP	オーストラリア・ドル	9.2
STOCKLAND	オーストラリア・ドル	6.8
CONTACT ENERGY LTD	ニュージーランド・ドル	6.0
GPT GROUP	オーストラリア・ドル	5.6
MIRVAC GROUP	オーストラリア・ドル	5.4
INFRATIL LTD	ニュージーランド・ドル	4.9
CHARTER HALL GROUP	オーストラリア・ドル	4.6
DEXUS/AU	オーストラリア・ドル	4.4
ARENA REIT	オーストラリア・ドル	4.3
組入銘柄数	42銘柄	

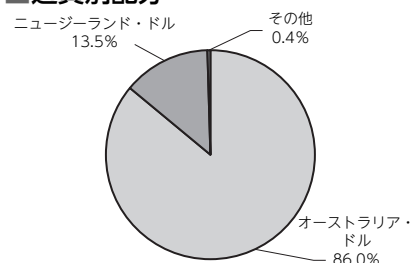
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当りの費用の明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

(注2) 1万口当りの費用の明細における費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。また、円未満を四捨五入してあります。

(注3) 組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

(注5) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

\*計算期間の運用経過、組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。





## ■ 1万口当りの費用の明細

項 目	当期 (2023年12月12日~2024年12月9日)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	4円	0.041%	信託報酬=当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は9,922円です。
( 投 信 会 社 )	(1)	(0.009)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
( 販 売 会 社 )	(3)	(0.032)	販売会社分は、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料=当作成期中の売買委託手数料/当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税=当作成期中の有価証券取引税/当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	3	0.033	その他費用=当作成期中のその他費用/当作成期中の平均受益権口数
( 監 査 費 用 )	(3)	(0.033)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	7	0.074	

(注1) 当作成期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

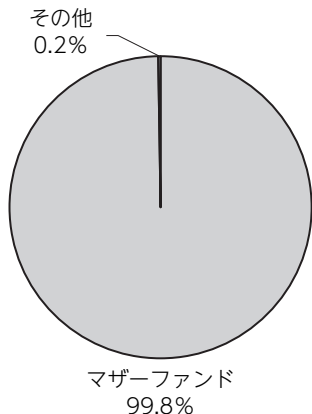
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

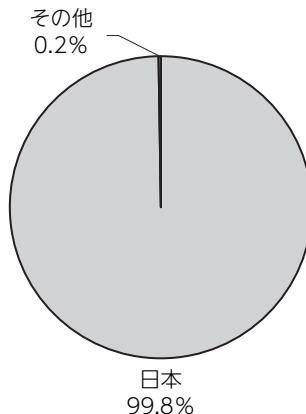
■組入ファンド等

	比 率
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	99.8%
その他	0.2

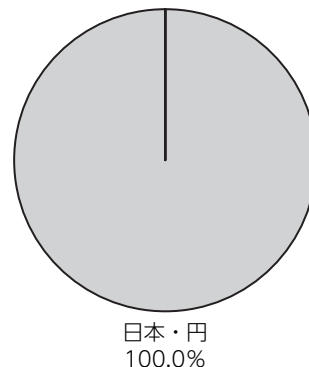
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



(注1) 上記データは2024年12月9日現在のものです。

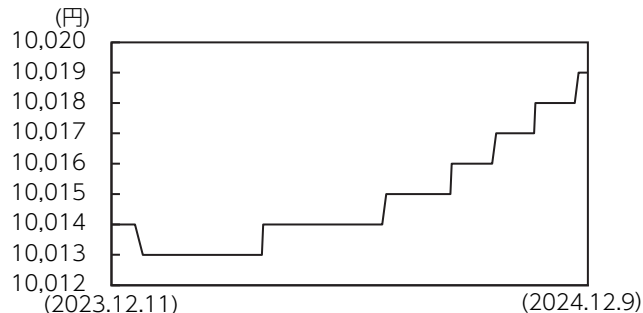
(注2) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

※以下のファンドはダイワ・マネーポートフォリオ（FOF s用）（適格機関投資家専用）が組み入れているファンドです。

◆ダイワ・マネーポートフォリオ（FOF s用）（適格機関投資家専用）（計算期間 2023年12月12日～2024年12月9日）

■基準価額の推移



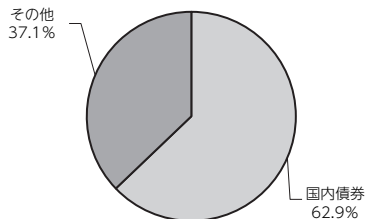
■1万口当りの費用の明細

項目	
売買委託手数料	-円
有価証券取引税	-
その他費用	-
合計	-

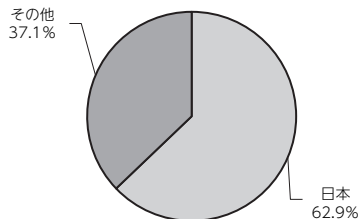
■上位10銘柄

銘柄名	比率
1258国庫短期証券 2024/12/23	62.9%
組入銘柄数	1銘柄

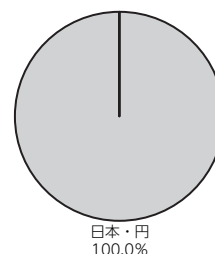
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当りの費用の明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 1万口当りの費用の明細における費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。また、円未満を四捨五入してあります。

(注3) 組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

(注5) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

\*計算期間の運用経過、組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。